

## 【会議記録】

## 第3回一宮市部活動地域移行検討協議会

日時	2024年10月22日（火）14時30分～16時10分
場所	一宮市役所本庁舎 1402会議室
出席者	委員14名（鈴木、宇佐美、土川、長谷川、秦、高木、町田、五藤、伊藤、芳賀、江藤、花村、今村、森）

## 1 開会のことば

## 2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

## 3 報告事項

（1）2024(令和6)年度後期モデル事業・活動状況について

（2）2024(令和6)年度前期モデル事業・参加者アンケート結果について

（3）本格実施に向けた各種アンケート結果について

- 事務局から以下のように報告があった。
  - ・9月から1・2年生を対象に、後期モデル事業がスタートした。新たに協会主催のストリートダンスが加わり、20名の参加者が集まった。
  - ・前期モデル事業は、多くの生徒が指導に満足感を得ながら、前向きに活動することができた。
  - ・2026(令和8)年度に中学生となっている、現在の小学5年生～中学1年生にアンケートを実施した。全回答者8,617人のうち、約28%の2,439人が「休日地域クラブ活動に参加したい」と答えた。
- 地域移行とは、学校に頼っていた運動の機会を継続的に親しむことができる生涯スポーツとして、どのようにして地域に繋げていくのかが目標であるため、あまり教員がやらない方がよい。
- 学校以外に会場がないため、中学生だけの活動を広げていくことは難しい。公民館等で活動している地域の方に、中学生も一緒に受け入れてもらえるような手立てを考えていかなければいけない。

## 4 議事

（1）2025(令和7)年度地域クラブ活動への参加の想定について（案）

- 事務局から以下のように提案があった。
  - ・2025(令和7)年度地域クラブ活動に参加を考える団体について、想定される参加のケースと、生徒への紹介、活動場所の確保、補助金の交付などの事務局が行う運営支援について検討したい。
- 立場を変えた指導者が、学校部活とは別の時間帯に活動する学校独自の方法は、指導者不足を補う意味ではよいが、そこから保護者や地域の指導者に広げていくことが重要である。
- 地域連携クラブは、教員の異動などを考えると単発的なものを感じる。地域連携クラブは2026(令和8)年度に向けて地域移行クラブになっていけるよう、今後も協議会で考えていけるとよい。
- 地域への移行先は土日の午前・午後だけでなく、平日・休日の夜間など、それぞれの団体が実施しやすい時間帯も考えていかなければ、2,439人の子どもたちの希望を叶えてあげられないと思う。

（2）休日地域クラブ活動・参加説明資料について（案）

- 事務局から以下のように提案があった。
  - ・11月に実施する教職員・外部指導者への指導希望者説明会に向けて、「参加に関わるお願い」と指導者が疑問に思うであろう内容について「Q&A」にまとめた。年内に参加意思のおおよそを確認した後、参加書類の作成等、実施に向けての準備を進めていきたい。
- 地域移行は、子どもや保護者が自己責任のもと自由に選択していけることが大切であるため、指導者に対しても縛りを多くせず、希望を受け止めながら進めてほしい。

（3）その他

- 事務局から以下のように提案があった。
  - ・課題となっていた「児童生徒・保護者への地域移行の現状と今後の見通しについての周知」の改善に向け、新たにInstagramを開設し、モデル事業の活動の様子や参加者・指導者募集の告知を発信していけたらと考えている。
- 地域移行やモデル事業のイメージが湧かない児童生徒にとって、Instagramによる情報発信は非常に有り難い。この形が実現し、複数の競技の活動を動画で見ることができれば面白いと思う。

## 5 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

## 6 閉会のことば